

「音にいのちあり～鈴木鎮一 愛と教育の生涯～」の音楽について

松本市芸術文化祭60周年記念を祝い、本年9月29日（日）にまつもと市民芸術館主ホールで上演される総合舞台劇「音にいのちあり～鈴木鎮一 愛と教育の生涯～」。前号では、熱氣にあふれた舞台稽古の様子を紹介しました。今回は、脚本・演出を一手に引き受け、鈴木鎮一先生の奥様であるフルト・ラウト夫人役と母お良のダブルキャストで出演される松本市在住の女優、美咲蘭さんと、音楽監督の角田忠雄さん、劇中に使われる音楽について、先取りでお尋ねしました。当日の舞台でその様子をお楽しみください。

演技と音楽の融合・調和を目指します。



音楽監督・角田忠雄先生の作曲、酒

これまでの様々な舞台活動を通して培つてまいりました「音楽の力」と「演技・言葉の力」とのハーモニーが、このステージで余すところなく發揮されることを願つております。

井和彦様、木内栄様をはじめとするアンサンブル＝バスチャンの皆様（今回のステージでは、ヴァイオリンの太田麻衣様、ヴィオラの平波智映様、チェロの武井英哉様の3人が、スキメソードご出身者として、ご参加くださいます）の演奏による劇伴奏が、私どもの舞台劇を、よりふくよかな作品へと引き上げてくださることを切に望んでおります。

そして、伝田正秀様のヴァイオリン演奏、石川咲子様のピアノ伴奏、青山貴様のバリトン独唱に加えて、演技者と合唱団によるオリジナル曲などの歌唱が物語全編にわたって、ともに寄り添い、支え合いながら、大きな力を發揮していただけますよう、期待しております。

ことに、伝田様は長野市に生まれ、スズキ・メソードの指導者のご両親からヴァイオリンを学ばれ、現在は譲売担当しておいでになります。そのような方に、加わっていただけますことは大変な喜びです。お二人には、ローデルトなどを演奏していただきます。

日本交響楽団のコンサートマスターを担当しておいでになります。そのような方に、加わっていただけますことは大変な喜びです。お二人には、ローデルトなどを演奏していただきます。

鈴木鎮一先生が、ご自身の道を切り開いて行かれた若き日のシーンが、時空を超えて観客の眼前に彷彿されるよ

聴きどころをたくさん用意しました。

角田忠雄



鈴木鎮一先生

うにと願っております。また、「名古屋の子守唄」の演奏シーンでは、在りし日の鈴木先生を偲んで、お聴きいただけるよう、演技者と交錯して登場していただこうと思っております。

鈴木先生が、人としての気高さ、愛と平和を一筋の思いで望み、子どもたちへの音楽教育に心を注いでおられた、そのテーマを、音楽監督の角田忠雄先生が、あたたかく豊かなまなざしで描いてくださるだろうと確信しております。演技と音楽の融合・調和を目指して、ともに創り上げてゆきたいと思います。

ということで、音楽の面からも大変樂しみな要素がいっぱいの「音にいのちあり～鈴木鎮一 愛と教育の生涯～」。すでにチケットは絶賛発売中です。良いお席から売れていきますので、どうぞお早めにお買い求めください。

大変苦労しているところは、たくさんあるのです

が、強いて一つあげるとすれば、ベルリン留学時代に、カール・クリングラー先生に弟子入りを志す若き日の鈴木先生が、ローデのコンチェルトを演奏する場面です。

音楽監督の立場から、今回の上演でアピールしたいところは、松本市の名譽市民でもある鈴木先生の生涯を描く劇の音楽が、地元の松本周辺在住あるいは出身の音楽家や演技者によって演奏・歌唱されることになります。

私の専門のギターも、何ヵ所かで使おうと思っています。音楽の面からもこの劇を楽しんでください。



チケット発売中

9月29日（日）

昼の部 12:30 開演

夜の部 17:30 開演

入場料 前売 S席:3,000円、A席:2,000円、自由席:1,500円（当日券は各500円高）

チケット取り扱い: 松本市中央公民館・まつもと市民芸術館・才能教育研究会
(問) 松本市芸術文化祭実行委員会
事務局 tel.0263-32-1132